

営業所通信⑧

八雲営業所からのご提案 植生改善について

八雲営業所 森山 淳也

平素より弊社の製・商品をご利用・ご愛顧いただき、心から厚くお礼申し上げます。

弊社では自給粗飼料の品質向上に取り組んでおりますが、粗飼料の量や品質は、天候等により左右されてしまいます。昨今の草地・及び飼料作物での圃場においては下記の事柄を耳にする事が多くなりました。

【雑草問題】

草地については写真①をご覧ください。今年の5月に道南管内の圃場で見かけた雑草の写真です。従来のシバムギやリードカナリー、ギシギシなどの強害雑草対策にも頭を悩ませていますが、近年は、写真の様にメドウフォックステイルやハルガヤも目立つ様になりました。

メドウフォックステイルは非常にチモシーの穂と似ている事から雑草という認識が今まで見過ごされていたかもしれません。そしてハルガヤも従来の牧草を抑圧して広がっている模様で草丈が低い事から収量も期待できません。

選択制の除草剤が無い状況の中、このままでは自給飼料としては期待できない状況です。

【害虫被害】

道南管内では、数年前にネキリムシの発生によりデントコーンが被害にあった圃場やヨトウムシの発生被害がありましたが、今年につきましても6月下旬～7月上旬に道南管内においてヨトウムシの発生報告がありました。また2番草収穫時期には、バッタの食害が発生した圃場があり牧草収量に影響が出ました。

【気象状況】

平成26年の道南地方での天候については皆様ご存じ



写真① 管内で採取した雑草（5月21日）
左：ハルガヤ（草丈約25センチ前後）、
右：メドウフォックステイル（草丈約60センチ前後）

下記は穂の拡大写真
（左：ハルガヤ、右：メドウフォックステイル）



の通り、例年になく春先は雪解けが早く圃場にトラクターが入れた事により牧草種子の春播きが出来ましたが、干ばつ気味が続く圃場の状況によっては生育が芳しくない場面もありました。また8月の短時間での豪雨や9月にも天気が安定せずに突然の雨に2番草や3



写真② 簡易更新機ブレド社オーバーシード

番草が雨当たりとなり難儀された事と思います。

このような【雑草問題】【害虫被害】【気象状況】の中、牧草地の植生改善に向けて、この度八雲営業所では、植生改善対策としてブレド社のオーバーシードという簡易更新機（写真②）を1台導入しました。

この簡易更新機は作溝法という追播タイプであり、作業幅2.9メートルにて草地の表層部に7.5センチ間隔で溝を切り、そこへ播種致します。（弊社2015年度牧草・飼料作物カタログの32ページにも紹介していますのでご参照ください）従来のプラウ耕による完全更新に対し作業時間の短縮も出来ることから、下記の様な場面でも活用が考えられます。

- ・晩夏の播種作業が出来ず、フロストシーディングを実施。
- ・整地状況が良く裸地が多い春先の圃場への追播。
- ・雑草が多く更新したいがプラウ耕が難しい石礫や傾斜地、排水不良の圃場
- ・なるべく更新経費をかけたくない借地圃場の植生改善。 などなど

この更新機を貸出し致しますので、ご要望の方は八雲営業所もしくは担当の営業マンにご相談下さいませ。（複数のお客様のご要望でご使用時期が重なる場合の際は、別途ご相談申し上げますので、ご理解・ご協力のほど宜しくお願い申し上げます。）

商品PR 『こうし応援団』

哺乳子牛の下痢、軟便を軽減し、哺乳期の子牛の健康増進・維持を目的に開発しました植物乳酸菌・セロオリゴ糖入りサプリメント「こうし応援団」(写真③)をご案内申し上げます。

主な成分は、植物性乳酸菌のラクトバチルス・プランタムHOKKAIDO株、セロオリゴ糖、マンガンです。植物性乳酸菌ラクトバチルス・プランタムHOKKAIDO株が腸まで届き、セロオリゴ糖とマンガンがその働きを助ける作用をしています。給与量は1頭当たり1日20グラムを3週間給与、初乳や生乳及び代用乳に混合して給与して下さい。1日に1回20グラム給与でも1回10グラムを2回給与でもどちらでも良いです。

商品荷姿は1キロ入りと5キロ入りの2種類です。

1キロ入りはおおよそ子牛2頭分で、5キロ入りはおおよそ子牛10頭分となります。

これから厳冬期に向かい、昨今の変動の大きな気象条件によって子牛のストレスも大きいものと思われる。健やかな哺育牛・子牛育成に向けて是非ご使用をご検討下さいませ。よろしくお祈り申し上げます。



写真③ こうし応援団 1キロ入り